



# 都道府県クイズをつくろう

松原市立松原北小学校

教科	社会	単元名	わたしたちの県
----	----	-----	---------

## 単元でつきたい力（ステップシートの項目）

### 本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP 2, C-STEP 2, D-STEP 2  
G-STEP 2, J-STEP 2, K-STEP 2

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



- (教科等でつきたい力)
- ・地図から、都道府県の情報を見つける。
  - ・地図から読みとった情報をつなぎ合わせて考える。(学校図書館等の活用でつきたい力)
  - ・伝えたい都道府県の特徴について、資料から必要な情報を集める。
  - ・集めた情報を整理し、取舍選択する。

## 単元における学習の展開（全 12 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (2 時間)	○日本の都道府県と大阪府の市区町村 ・日本の都道府県の名前と場所を知る ・大阪府の市区町村の名前と場所を知る
第 2 次 (6 時間)	○岡山県のように ・市区町村の人口と場所 ・土地の活用の仕方 ・特産物や産業 ・高い土地と低い土地 ・交通の広がり
第 3 次 (4 時間)	○自分の知りたい都道府県 ・大阪府について調べよう ・気になる都道府県を調べよう (☆) ・調べたことをまとめよう (☆) (本時) ・問題を出し合おう (☆)

### 本時のねらい

- ・自分の気になった都道府県の情報を整理し、難易度や面白さなどを考え、出題の順番を工夫しながらクイズを作ることができる。

### 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント及び指導上の留意点
導入 (10 分)	<b>1. 例題にチャレンジする。</b> ・教員が作成した都道府県のクイズにとりくむ。 ・例題のヒントの順番にどのような工夫があるのかを考える。	クイズ形式にして、全員が参加できるようにする。写真や表なども加えた例題を提示し、言葉だけでなく、他の情報も加えてよいことを示す。
展開 (25 分)	<b>2. 自分の調べたことを3つのヒントにわけ。</b> ・自分が調べた情報から、3つを選ぶ。 ・3つのヒントの並べ方を工夫する。 <b>3. スライドをつなげてクイズにする。</b> ・クロームブックでスライドを作る。(手書きでもよい。) 第1ヒント → 第2ヒント → 第3ヒント → 答え	・違うクラスの児童にクイズを出すという相手意識をもたせる。 ・自分が興味をもって調べた図書資料による情報の中から、クイズにしたい3項目を選択させる。(難易度・おもしろさ等に留意) ・3項目の順番を工夫させる。
まとめ (10 分)	<b>4. 次時(クイズ大会)の見通しをもつ</b>	児童同士で、問題を出し合い、推敲させる。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

児童が興味関心のある都道府県の調べ学習を進める際、どのような項目について調べればよいかの意見を出しあうことで、多様な視点があることを共有させる。その後、調べ学習を進めることで、児童が地形、名産物、気候等の視点をもってクイズをつくることができる。

クイズ大会では、出題された問題が、わからなかった時に図書資料を活用して調べたことを認めており、児童が意欲的に取り組むことができる。

都道府県の調べ学習を実施する際、4年生の児童一人ひとりのニーズにより資料をそろえるため、学校と市民図書館が連携することで、資料の充実をはかることができる。



自分の集めた情報から、クロームブックを使い、クイズを作成している様子